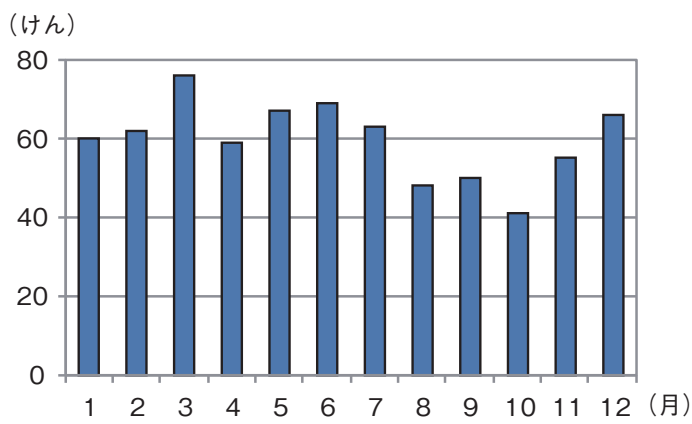


## 2

# 交通事故や事件をふせぐ

### 気づく

交通事故はどのようなときにおきるのでしょうか。



↑ 草津しよ管内月別事故けん数 [2017年]

## 身の回りのきけん

わたしたちの身の回りには、自転車や自動車などいろいろな乗り物があります。これらの乗り物は生活の中で大切な役わりをもっていますが、命をうばう大きな事故につながっていることがあります。

### ●歩いているとき

い反していない	30
飛び出し	16
横だんのい反	11
道での遊び	4
一人歩き (幼児)	4
信号むし	2
その他	9
合計	76

### ●自転車に乗っているとき

安全確認不足	18
一時不停止	14
い反していない	14
信号むし	2
その他	111
合計	159

↑ 子どもが関係した交通事故 (人数) [滋賀県警本部資料 平成29年]

表やグラフを見て気づいたことを話し合おう。



↑ 自転車用のヘルメットをかぶって登校する様子

※特に、13歳未満の子どもは、ヘルメットを着用するよう法律ですすめられています。

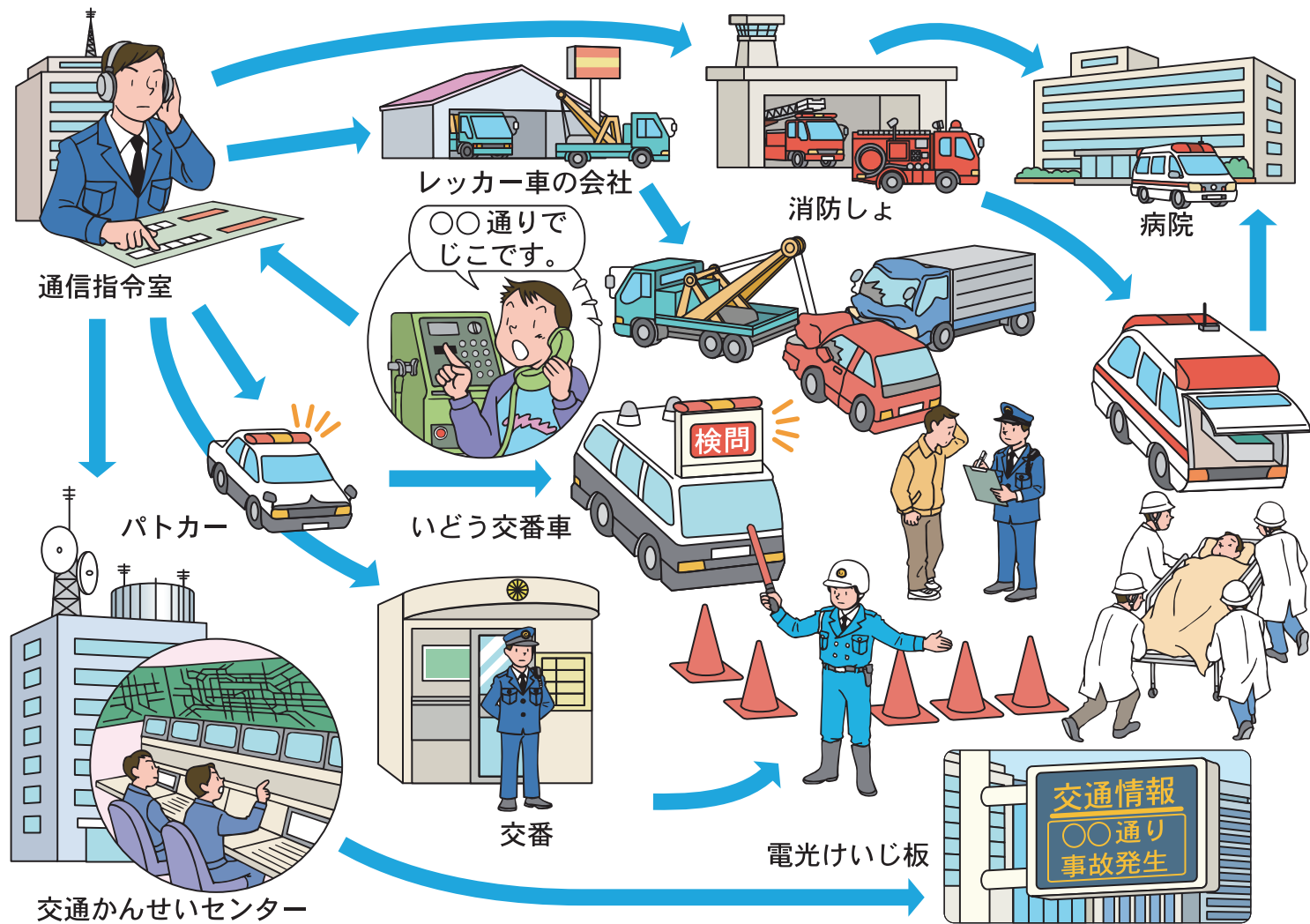
## けいさつしよの人の話



草津けいさつしよ管内では、自転車に関する事故が多いです。気をつけたらふせげる事故もあります。ルールを守るといふ意しきが大事です。一人ひとりが気をつけてほしいと思っています。

事故や事件からくらしを守るために、いろいろな取り組みが行われています。

わたしたちも交通安全教室で自転車の乗り方を学習しましょう。



↑通信指令室からの連らくの流れ

## 事故がおきたら

交通事故の知らせが入ると、けいさつの人はすぐに事故現場<sup>げんば</sup>にかけつけます。通信指令室を中心に多くの人々が連らく<sup>れん</sup>し合<sup>きょうりょく</sup>って、協力して仕事をします。

「事故がおきると、けいさつ以外の<sup>いがい</sup>人にも連らくが入るのね。」

### けいさつへの通報<sup>つうほう</sup>で伝える事<sup>つた</sup> (110番)

- 事故の場所 (目立つ<sup>たてもの</sup>建物)
- 事故の様子
- 自分の名前や電話番号



↑通信指令室の様子

### 調べる

事故の知らせは、どのように伝わるのでしょうか。

### 通報

情報を知らせること。  
110番の電話は、けいさつ本部の通信指令室につながります。



↑草津市内には、<sup>げんざい</sup>現在8つの交番やちゅうざい所があります。

## くらしを守る仕事

けいさつの方は、<sup>じこ</sup>事故の<sup>たいおう</sup>対応だけでなく、わたしたちが安心してくらすための仕事をしています。けいさつの方に聞いて調べました。

### 事故を<sup>ぼうし</sup>防止するために

交通安全教室を<sup>じっし</sup>実施しています。自転車の乗り方や横断歩道の歩き方について、話をしたり体験を行ったりしています。また、事故防止のためにチラシの入ったティッシュを駅前配るなど、けい発運動をすることもあります。

事故の中でふせげるものはないか、みんなで話し合おう。

### <sup>おうだん</sup>横断歩道や、<sup>しん</sup>信号の<sup>せっち</sup>設置

車や人がそれぞれ安全に通行できるように、横断歩道や信号をどこに設置するかを考えることも大事な仕事です。通学路のグリーンベルトの設置もします。

### 事件への対応

トラブルが起こりやすいところは、パトロールを強化します。不審者<sup>じょうほう</sup>情報が入ってきたときは、市役所と<sup>はいしん</sup>連携し、身の安全を守るようによびかけます。

けいさつの仕事について話し合おう。

### 事件<sup>じけん</sup>を防止するために

不審者<sup>ふしんしゃ</sup>に対応するための<sup>くんれん</sup>訓練を行っています。ボランティアの方といっしょに町の様子を見回ることもしています。

### 交通い反の取りしまり

交通のさまたげになるちゅう車い反や、交通ルールを守らない運転などを取りしまります。スピードの出しすぎはたいへんあぶないです。走る車をとめて、シートベルトをするよびかけもしています。



## 安全なまちづくり

わたしたちの町には、安心な生活を送り、交通事故から身を守るための設備<sup>せつび</sup>、道具がたくさんあります。また、多くの人があるために協力してくださっています。



飛び出しぼうやは、小学校の保護者<sup>ほご</sup>の方や地いきのボランティア団体によってつくられることが多いです。



犯罪<sup>はんざい</sup>にまきこまれないようによびかけます。交通安全にかかわるお知らせにも看板を使います。

## 調べる

わたしたちの身のまわりにある、わたしたちの安全を守ってくれるものをさがしてみましょう。

## 子ども110番

いざという時に、子どもたちが助けを求められるようにしている店や家のこと。



見守り下校の様子です。地いきのボランティアさんが、毎日見守ってくださいています。おかげで、安心して下校できます。

この他にも、安全なまちづくりのために、どんな工夫があるか話し合おう。